

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

グループ経営を徹底し、連結グループ全体の持続的成長・価値向上を実現する

② 中長期の経営戦略

1. 船舶運航事業

安全・安心な運航継続、佐渡市民の社会生活支援、来訪者増加に向けた利便性向上、物流生産性向上

2. 陸上運輸事業

佐渡島における運輸事業のプレゼンス向上、収支改善、設備投資と拠点集約の推進

3. 観光・旅行事業

佐渡の魅力PR、地域連携による旅行商品開発、イベント参加者・観光客の取り扱い増加、島内移動手段の利便性強化

4. 物販・飲食事業

佐渡産品販売機会の拡大、地域商社的事業展開、生産性向上と収支改善

③ 対処すべき課題

① 経営環境への対応

- ・ 佐渡市民の高齢化及び人口減少による中長期的な需要減少への対応
- ・ 2024年7月の佐渡島の金山世界文化遺産登録を活かした継続的誘客
- ・ 安全で安定した運航提供という公共交通機関としての責任

② 事業上の重要課題

- ・ 労働生産性の改善、継続的な設備投資、労働分配の増加の3項目の推進
- ・ 貨物船「日海丸」の更新を含む船舶更新への取り組み
- ・ 運航経費増加や人手不足等への対応として2026年4月1日の運賃改定実施

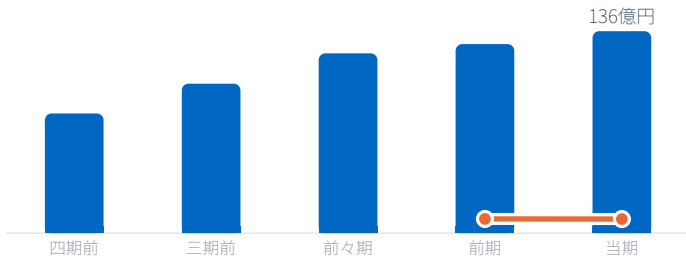
③ 財務基盤の強化

- ・ みちのりホールディングスからの出資による経営支援を受けた事業再生の継続
- ・ DX推進等による生産性向上と将来の船舶更新に向けた財務基盤強化
- ・ EBITDA等の経営指標でのモニタリング

面接で使えるポイント

- ・ 2024年7月の世界文化遺産登録を契機とした佐渡島のプロモーション展開と持続的誘客への取り組み
- ・ みちのりホールディングスの経営支援下での2022年からの事業再生と2026年の成長軌道確立
- ・ 貨物船「日海丸」更新を含む持続的な設備投資と安全・サービス品質向上の両立

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに

当社（佐渡汽船株式会社）のほか親会社、連結子会社7社で構成されており

主力事業・セグメント

- ・海運業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・－（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
136億円営業利益率
7.0%財務健康度
52点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 41.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
－（未開示）平均年齢
－（未開示）平均勤続
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

